



地区スローガン **愛着と誇り**

クラブテーマ
ロータリー：
変化をもたらす

**一人一人がリーダーシップ力を
発揮する楽しいクラブ**



創立／昭和 36 年 6 月 28 日
承認／昭和 36 年 8 月 3 日
例会日／火曜日 12:30~13:30
例会場／勝山市民活動センター内
〒911-0811 福井県勝山市片瀬町 1 丁目 402 番地
TEL0779-87-7761 FAX0779-87-7760
URL <http://katsuyamarc.jimdo.com>
Email: katsuyamarc@gmail.com

●会長スピーチ

会長 竹原 幸雄



前回お話できなかったのですが、10月1日に大野ロータリークラブと初めてゴルフの交流会をすることができました。大野ロータリークラブの誘いが合同例会の時にあり、都合のつかない会員もありましたが4人が参加し、全体で

20人近くの交流会と懇親会を楽しみました。

参加して互いのクラブの情報交換をしながら諸々の気づきや発見もありました。これからも身近なクラブのメリットを生かして共にできる同好の交流会ができる楽しいクラブの運営ができるといいものだと感じました。

さて、先月は基本的教育月間に因んだ話題をさせていただきました。今月は米山月間です。早速に本日、米山奨学生のワンリチンさんの卓話を開催できるようになりました。よろしくお祈いします。

米山記念奨学会のねらいについては以前に吉田会員より詳しく報告をしてもらいましたので省くことにします。ただロータリー米山記念奨学会は母国と日本の懸け橋になって活躍する留学生を奨学するために奨学金を支給し、支援する日本では最大の民間奨学団体であることを改めて認識したいと思います。また留学生ひとりひとりに世話クラブを設けてカウンセラーをつけておられることが特徴であり、本日のように例会でクラブ会員と交流をしていくという手法は奨学金を支給するだけという団体とは大きく違うということと、そのことが日本のロータリーとして高く評価されていることも併せて理解したいと思います。

●幹事報告

幹事 梅田 秀司

- 例会変更のお知らせ (詳細は地区ホームページで)
- 10月28日 IM えちぜん鉄道 勝山駅 11:49 発

●委員会報告

○社会奉仕委員会

幅田 正実

10月22日(日) ヨシ刈りの参加をよろしくお祈いします。

○プログラム委員会

久保 光子

九頭竜ワークショップ「天空の果樹園」でリンゴ刈り体験ができます。31日の例会終了後にご希望の方があればお申し出ください。

●出席報告

中道 直司

10月17日 欠席1名 96.30%
10月3日 欠席4名 85.19%

●SAA報告〈ニコニコ箱〉

上山 弥一

財団マルチプルを受賞して……………多田会員
東京 RC の報告ができたことに……………滝川会員
週報に掲載されて……………和田達会員
娘が結婚しました……………上山会員
長い間欠席しました……………上山会員
届出欠席……………田村会員
早退……………竹田会員
結婚……………幅田・淵上会員

卓話よろしくお祈いします

……………米山地区委員 伊藤彰氏



**ロータリー財団
ポール・ハリス・フェロー 受賞**



梅田会員 ポール・ハリス・フェロー
多田会員 2回目のマルチプル・ポール・ハリス・フェロー
鷺田会員 4回目のマルチプル・ポール・ハリス・フェロー
玉木会員 2回目のマルチプル・ポール・ハリス・フェロー

本日 プログラム	夜の星の 観察会	10/31 プログラム	理科研究発表	11/7 プログラム	ゲスト卓話 斎藤博子氏	11/14 プログラム	ゲスト卓話 宮森昭宏氏
-------------	-------------	----------------	--------	---------------	----------------	----------------	----------------

【ゲスト卓話】

私の大学生生活

王 麗琴 (ワ リン) 福井大学 修士 2 年



皆さん、こんにちは。はじめまして、わたくしは中国からのワン リンと申します、今は福井大学で修士2年生として勉強しています。本日はどうぞよろしくお願い致します。

では、早速発表をさせていただきたいと思ひます。今日私は主に「私の大学生生活」というタイトルを中心にお話をし

ます。学部4年生の時に短期留学生として日本に来たため、最初の3年間は中国で勉強しました。それから、学部4年生と院生2年間は福井大学で勉学を続けています。ですから、今日は中国と日本での生活を話します。

まず、目次です。今日はこんな流れで行きたいです。第一部分は中国での3年間、その中で自己紹介、私の故郷と私の家族について簡単に紹介します。第二部分は福井での3年間、その中で日本に来たきっかけ、研究に関して、勉学以外の楽しさ及びロータリー米山奨学会の皆さんとの話しになります。最後は、未来についての卒業後進路と将来の夢を説明します。

私の出身地は中国の南の方にある江西省で、故郷は江西省の北の方波陽県です。江西省では山、河川と湖が多いため人々に「山水の郷」と称されています。歴史的でも中国語の「物華天宝 人杰地灵」と賛美されています。このセンテンスは食べ物、自然資源が豊かなので、人々が優しく才能があるという意味です。ここで一点説明したいのは中国の「省」が日本の「県」と同じ意味、中国の「県」が日本の「市」と同じ意味です。ちょうど逆になりました。

江西省ではいろんな歴史名所があります。今日は代表のいくつを取り上げて紹介します。こちらは世界文化遺産の廬山です。中国十大名山の一としての廬山は江西省九江市にある、昔から詩人や画家の作品対象になっている。廬山の映画館で、毎日1980年の映画「廬山の恋」だけを放送し続けて、世界ギネス記録に載せました。

次は私の故郷が所属されている上饒市に位置している三清山と鷹潭市にある竜虎山です。あとは高山草原で人気になる武功山です。武功山は中国のほかの山と違って、海拔1600m、6670万㎡の高山草原での野外キャンプが一番人気です。翌日金頂で日の出が見られるし、大小の竜は200カ所もあります。

故郷の波陽県は面積3976km²、湖面標高21m²で中国最大の淡水湖の波陽湖のため有名です。世界90%のホワイトクレーンが波陽湖で越冬し、渡り鳥の生息地として知られています。私が一番好きなのは米の餃子です。餃子の皮が直接米で作っているためこんな名前が付きまして。続いて、私の家族を紹介します。父親、母親、弟、妹と私です。私が帰国後のお正月の時、年末家族との晩御飯です。

私が日本に来る前、江西省の都会にある南昌航空大学で勉強していました。大学を離れた日の朝、同級生の皆は授業が始まる前に、早く起きて送別記念写真を取ってもらい、すごく感動しました。

日本に来たきっかけと言え、私が子供の時から中国以外の世界がどんな様子かをよく想像していました。テレビでも日本のアニメ、桜、和服を見られずごく興味があります。しかも大学に入って以来、先生と先輩から日本の機械技術が世界トップレベルだという話をよく聞きました。そのため、短

期留学プログラムによって日本に初めて来ました。それから、トンネル火災時における水噴霧による煙制御の数値シミュレーションを研究テーマとして福井大学の熱流体研究室で勉強しています。自分の中国での専攻とつながりがあり、そして人々の生命と財産安全を守れ、すごく有意義な研究だと思ふからです。ここでは簡単に説明させていただきたいです。水噴霧設備は従来のスプリンクラー消火設備と比べて、微小粒径、冷却効果と蒸発による膜のため酸素を遮断できる窒息効果という特徴が付けています。トンネルで火災が起きた時、大量の煙はトンネル利用者の避難に対して大きな障害となります。火災専用のコードであるFDSを利用した数値シミュレーションを実行し、水噴霧設備が使用される場合、煙の流動速度と温度分布を計測します。また、水噴霧は煙層の降下に対する制御効果を検証していることです。

こちらは勉学以外の生活の話になります。大学祭りの時、就職支援室の先生は私たちが作った中国の飲み物や餃子を買ってきてもらった写真です。私が日本に来た最初の一年間のtutorです。私と同じチームで研究をやって、すごく優しい先輩です。和服の初体験と今年の5月に高須町へ田植えに行ってきた。そして、高須町のお婆ちゃんは徹夜して私たちのために粽を作ってもらいました。日本語の授業が全部終了後、先生と一緒にたこ焼きを作ったり、カラオケにも行ったり、美しい記憶を作り出しました。来年就職するつもりで、自分の視野を広げることも兼ねて去年の11月に東京へ国際工作機械見学に行きました。福井大学を代表して挨拶し、しかもこの見学のきっかけ、マレーシアの子に出会い友達になりました。私が日本に来る前、料理ができなかったです。日本での3年間の暮らし、だんだん中華料理を学んで少しずつできるようになりました。今年のお盆休み、やっと富士山に登ってきた。九合目の山小屋で泊まって、熱が出てしまいました。よかったのは隣の日本人の方から解熱・鎮痛の薬を一粒借り、よくなってから翌日の日の出が見えました。

皆さんのおかげで、去年より勉学に取れる時間が多くなり、大変助かりました。いろんな活動に参加し、新しい友達もできました。寒くなってきたのが、私に去年の奨学生面接を思い出した。皆さんの優しさをまだ覚えています。これから、皆さんへの感謝の気持ちを持ち、残っている半年間の学生生活を充実に暮らすことができる計画を作りたいと思ひます。順調に卒業するため、頑張り続けます。

最後になりますが、未来の話をさせていただきます。今年の3月から就職活動が始まり、米山ロータリーの皆さんのお陰で、私は自分が一番入りたい会社の日産自動車株式会社の内定をもらいました。来年の4月から、日本で働くことを楽しみにしています。

将来の夢と言え、三つがあります。その一は、日本語と英語をうまく話せるようになりたいです。その二は、学生生活で学んだ知識、思考方式を将来の仕事で活かせるように頑張りたいことです。その三は、ロータリー米山奨学会の奉仕精神を日常生活での人助けに浸透し、そして誤解なしより平和の世界を作るのに自分の力を入れて貢献できることです。

ご清聴ありがとうございました。

